

焼津市 Well-Being指標 アンケート結果

令和5年6月8日

焼津市 DX推進課

焼津市 LWC（主観）指標アンケート調査について

- ・「令和4年度 スマートシティYAIZUプラットフォーム構築業務」（デジ田交付金を活用）委託業務の一つとして、LWC指標アンケートを実施

調査地域	焼津市全域
対象者	無作為抽出による18歳以上の男女（2,000人）
実施期間	令和5年2月6日から2月28日まで
実施方法	郵送（紙媒体）及びWeb（LoGoフォーム）でのアンケートの併用
回答状況	619人（回答率：31.0%）
設問数	43問（SCIJ公開LWC指標 主観アンケートより） 【内訳】 ・地域社会のWell-Being（個人因子）：30問 ・協調的幸福（協調因子）：10問 ・追加設問：3問 ※このほか、回答者の属性に関する設問及び情報通信に関する設問を合計7問調査した。

デジタル田園都市国家構想で目指すもの

- 政府は、地域の「暮らしや社会」、「教育や研究開発」、「産業や経済」をデジタル基盤の力により変革し、「大都市の利便性」と「地域の豊かさ」を融合した「デジタル田園都市国家」を構想しています。
- 「心ゆたかな暮らし」(Well-being)と「持続可能な環境・社会・経済」(Sustainability)を実現し、地域で暮らす人々の心ゆたかな暮らし (Well-being) の向上と、持続可能性の確保を目指します。

地域のWell-being向上と持続可能性の確保

- 地域毎にWell-Being指標を定期的に測定、KPIを設けて恒常的に改善
- デジタル技術等を活用し、循環型経済社会やカーボンゼロ地域を実現



- 多様な生活ニーズや価値観に寄り添うサービスを、デジタル技術によって磨いていくには、複数のサービスが積極的に協力し支え合う、共助のモデル・デジタルインフラを構築する
- このモデル・デジタルインフラを土台として、新たな生活サービスの創出と、積極的な市民参画による街の中での繋がりの強化による、Well-beingの向上に向けたまちづくりの好循環を生み出すことが必要となる

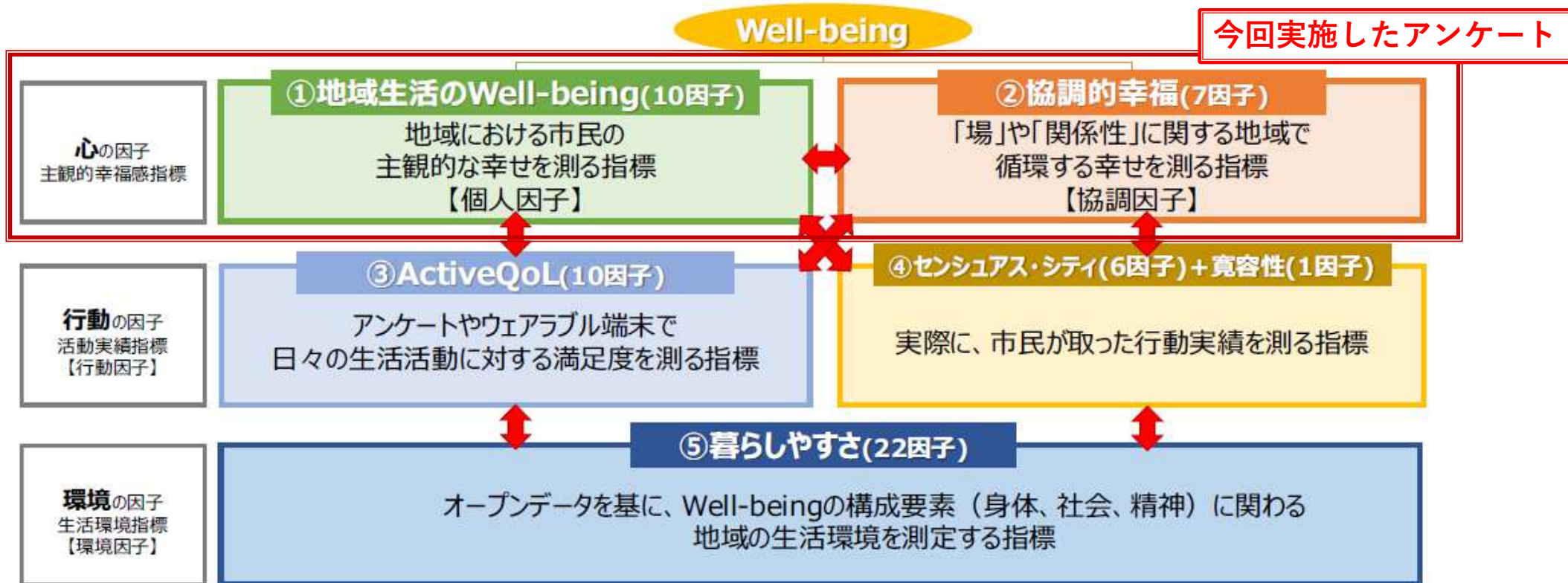
LWC指標の概念と導入目的

■ LWC指標の開発・導入目的は以下の6つです。

- **スマートシティ・まちづくりにおける「人間中心主義」を明確化**
 - デジタルやデータではなく、市民の幸福感（Well-being）の向上に向けてスマートシティ・街づくりを始める
- **市民の視点から「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を数値化・可視化**
 - 行政、企業からではなく、市民の視点に立ちスマートシティが市民の暮らしやすさや幸福感に繋がっているか、を確認しながら進める
- **ランキングではなく、自治体が「個性を磨く」機会を創出**
 - 都市の個性を更に磨く気付きの材料となり、それぞれの都市の特徴をグラフの形や数値から捉えることができる
- **WHO等の国際的な枠組みを導入**
 - 世界的な基準と整合させた枠組みを導入し、日本のガラパゴス化を回避する
- **客観と主観データの両方を活用。無料でオープン化**
 - 基礎自治体毎の客観的に測定できるデータと市民の主観によるアンケートデータの両方を無料で利用できる
- **まちづくりのEBPM・ワイズスペンディングに役立てる**
 - データ(根拠)に基づいた政策立案・検証や、政策効果が乏しい歳出から政策効果の高い歳出への転換に活用できる

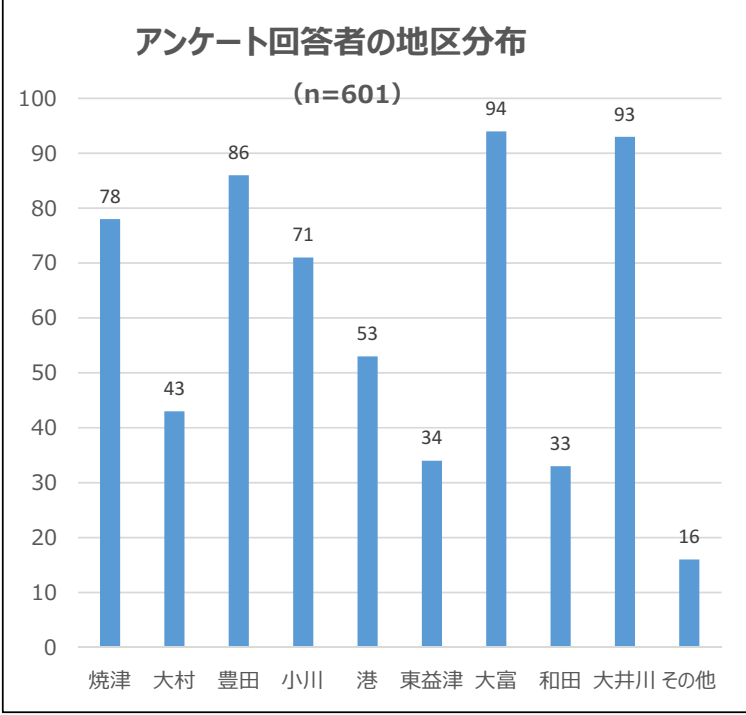
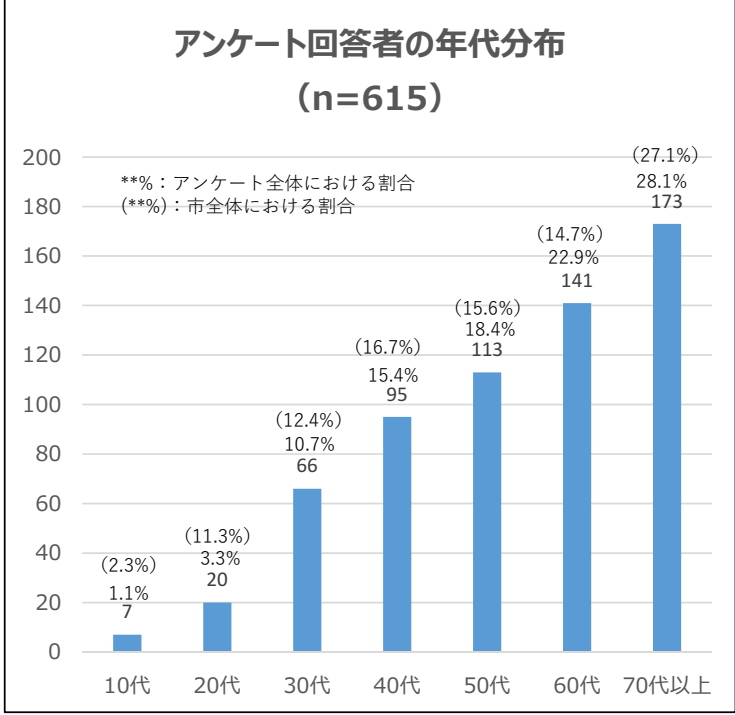
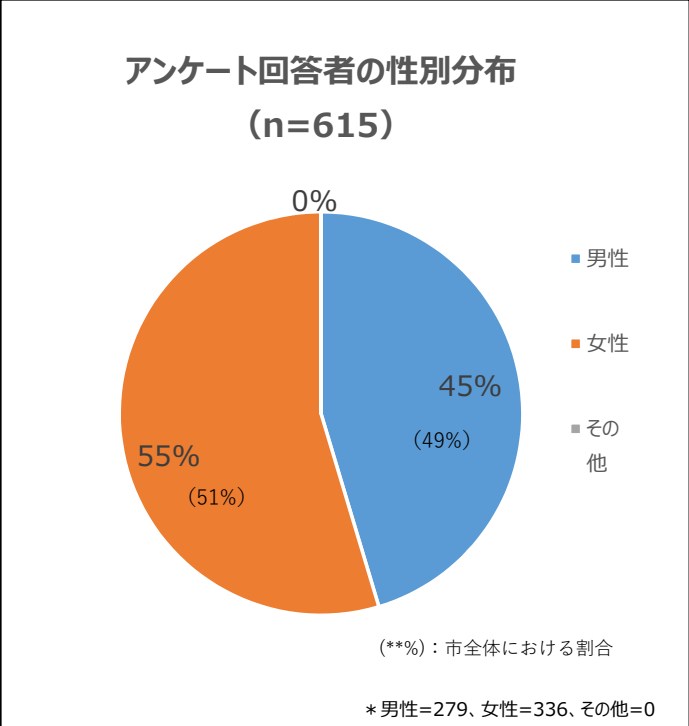
LWC指標の構成

- LWC指標は主観的幸福感指標である心、活動実績指標である行動、生活環境指標である環境の大きく3つの領域に分類され、さらに全体として5つの指標（計56因子）で構成されています。

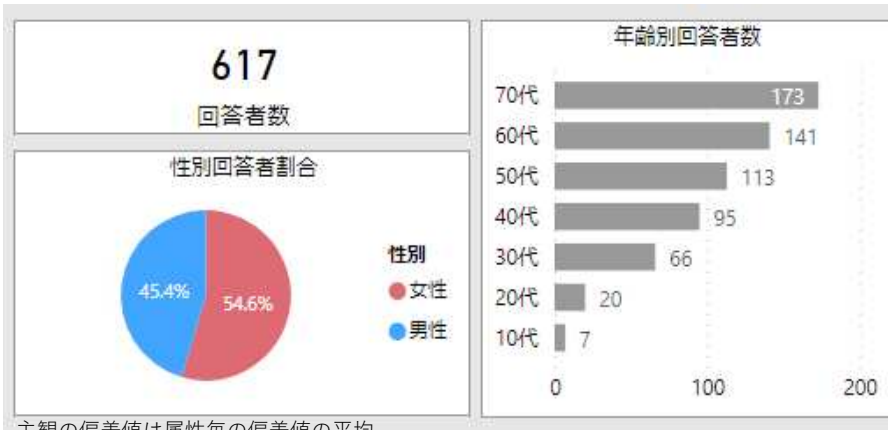
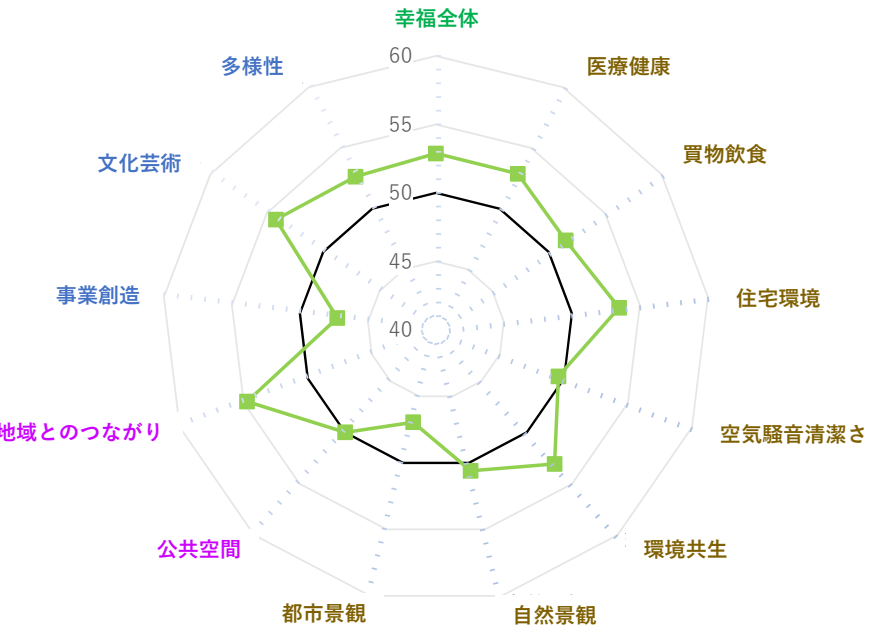


2.焼津市 LWC（主観）指標アンケート調査 回答者属性

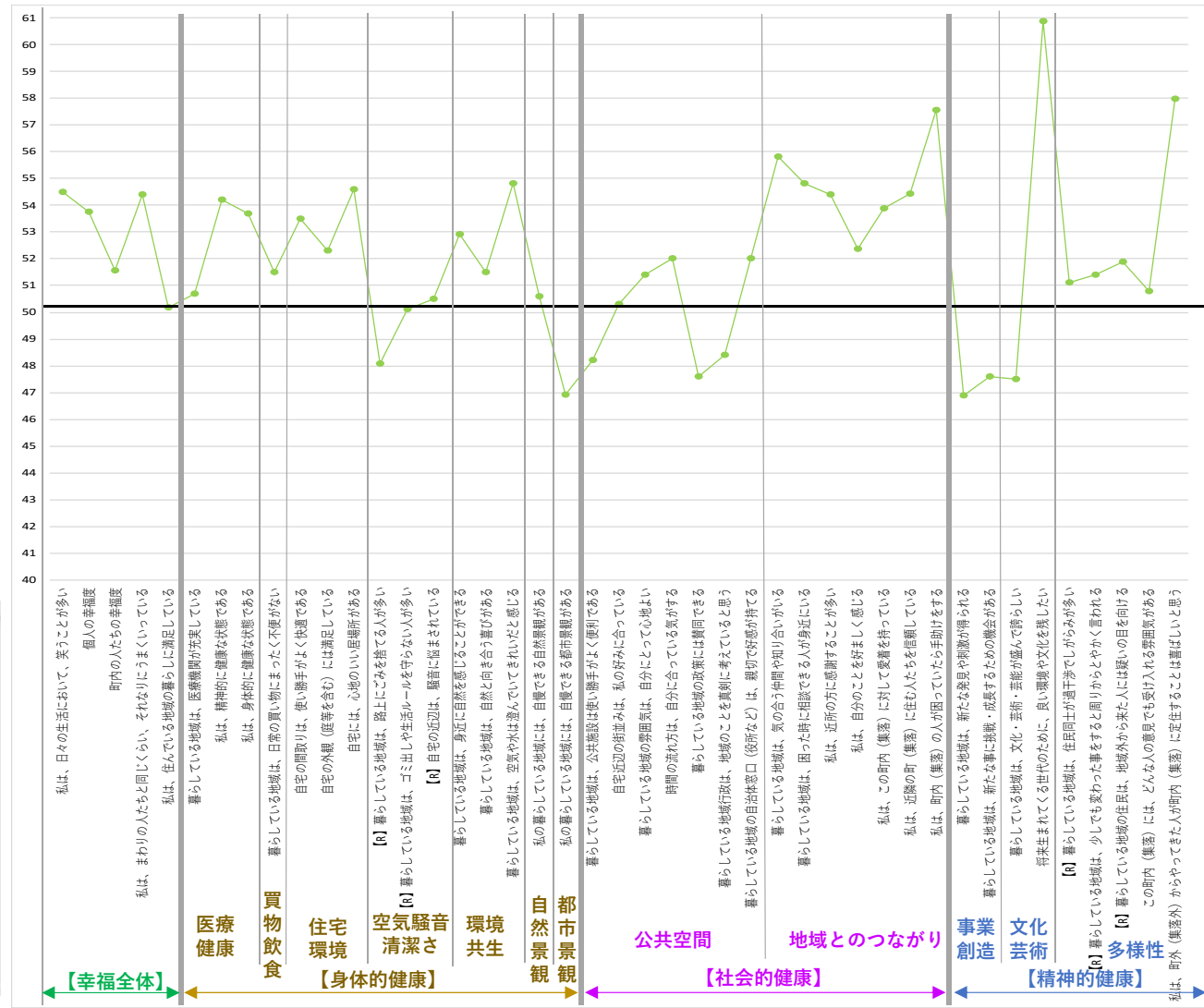
- 回答者の性別分布は、ほぼ焼津市全体の分布と同程度であった
- 回答者の年齢別分布は焼津市全体と比較し、10代20代は低く60代は多かったが、それ以外の年代はほぼ同程度であった
- 全地域から幅広くアンケート回答いただく。その中でも大井川、大富地域の回答が多い



3-1.主観的 指標から見た、焼津市の概要



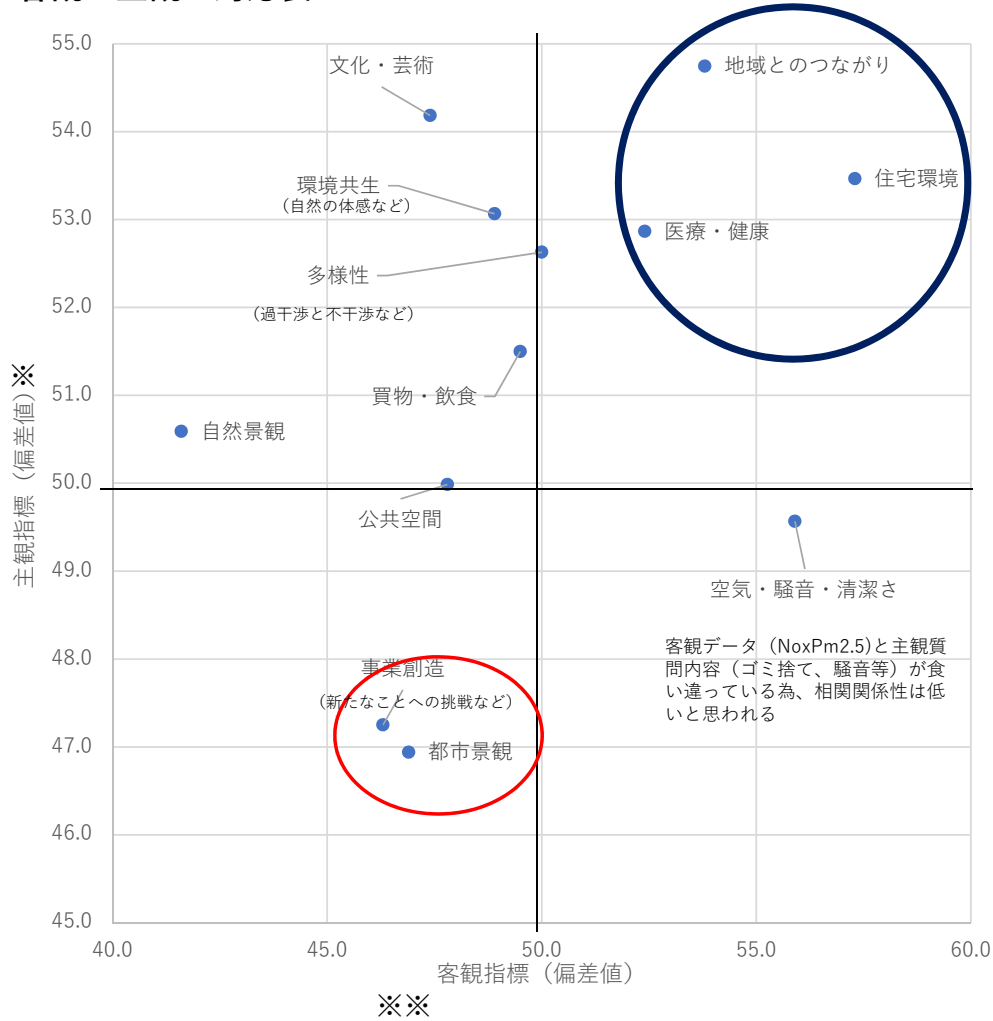
主観的の偏差値は属性毎の偏差値の平均



主観的の偏差値は属性毎の偏差値の平均

4.客観／主観的 指標から見た、焼津市の概要

客観×主観 対応表



【参考】各偏差値

	カテゴリー	客観指標	主観指標
幸福	幸福全体	—	52.9
	医療・健康	52.4	52.9
身体	介護・福祉	49.7	—
	買物・飲食	49.5	51.5
	住宅環境	57.3	53.5
	移動・交通	48.4	—
	空気・騒音・清潔さ	55.9	49.6
	事故・犯罪	43.3	—
	自然災害	37.6	—
	環境共生	48.9	53.1
	自然景観	41.6	50.6
	都市景観	46.9	46.9
社会	遊び娯楽	46.7	—
	公共空間	47.8	50.0
	雇用・所得	52.9	—
	デジタル生活	41.5	—
	地域とのつながり	53.8	54.7
	子育て	47.8	—
	初等・中等教育	46.6	—
精神	教育環境の選択可能性	45.3	—
	事業創造	46.3	47.3
	文化・芸術	47.4	54.2
	多様性	50.0	52.6

特徴

- ◆「地域とのつながり」「住宅環境」「医療・健康」は、客観・主観共に高く、暮らしやすい街であると想定される
- ◆「事業創造」「都市景観」は、客観、主観共に低い。

客観的指標 焼津市総合：48.1
 身体：48.5／社会：48.0／精神：47.3

※主観の偏差値は属性毎の偏差値の平均
 ※※：客観指標はSCIJ2022.7 LWC指標より

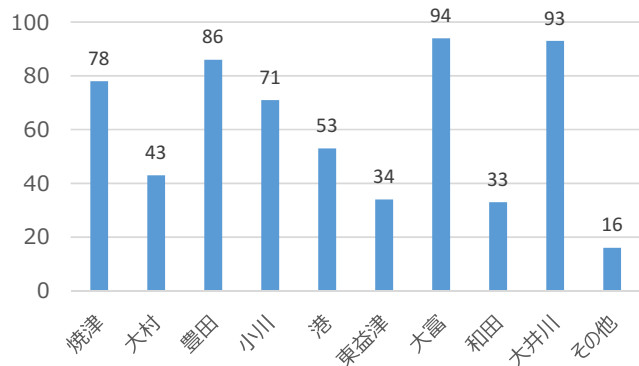
参考

◆地区分布、同居家族、労働地域

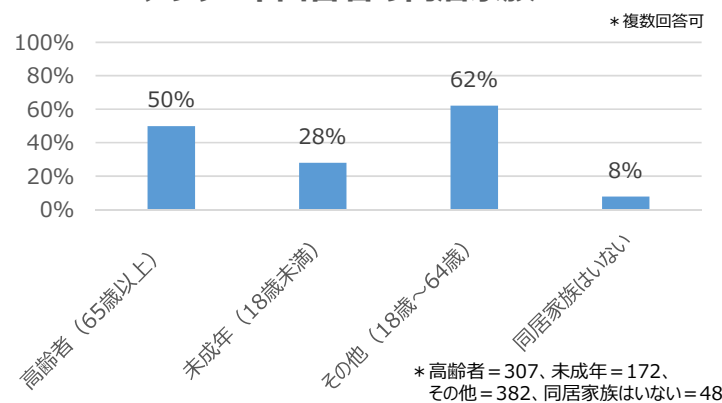
様々な年代、地区の方に回答いただきました

全地域から幅広くアンケート回答いただきました。その中でも大井川、大富地域の回答が多くなっています。同居家族は18歳～64歳が全体の62%、次いで高齢者が全体の50%となっています。アンケート回答者の労働地域は市内38%、市外28%、労働していない方が34%となっています。

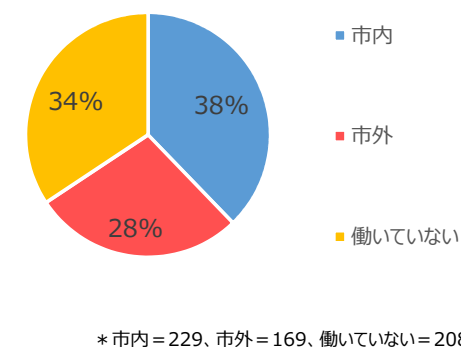
アンケート回答者の地区分布 (n=601)



アンケート回答者の同居家族 (n=615)



アンケート回答者の労働地域 (n=606)

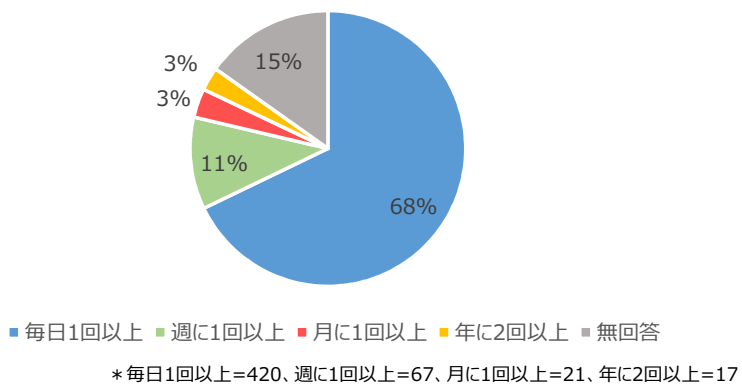


◆インターネット利用頻度

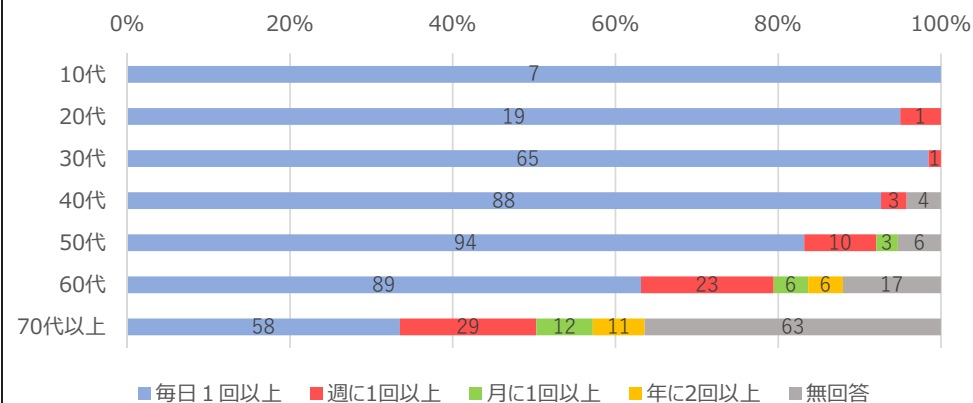
大半の方がインターネット利用しています

インターネットを毎日一回以上利用している方は、全体の約7割います。
年代が高くなるほど、利用していない方が増えていき、70代以上では毎日1回以上利用している方は3割程度です。
本設問で「利用しない」の選択肢を設けていないため、無回答が多くなったと考えられます。

アンケート回答者のインターネット利用頻度
(n=525)



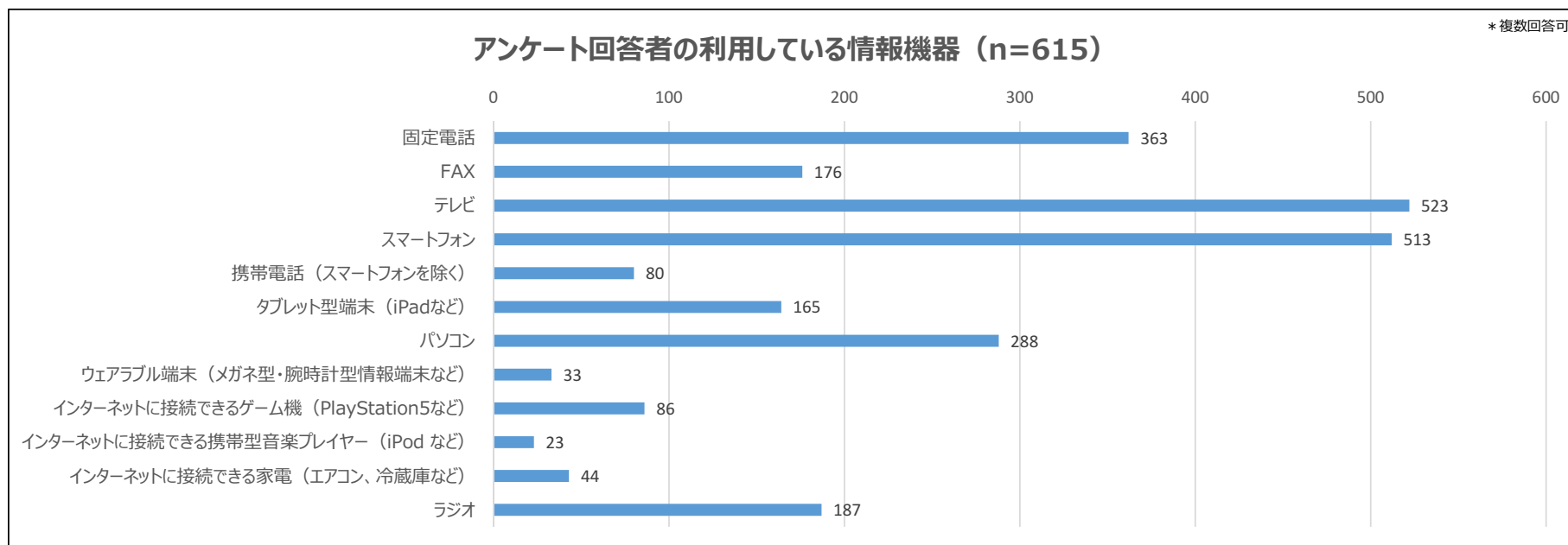
年代×インターネット利用頻度 (n=525)



◆利用している情報機器

テレビ、スマートフォンの利用者が多くなっています。

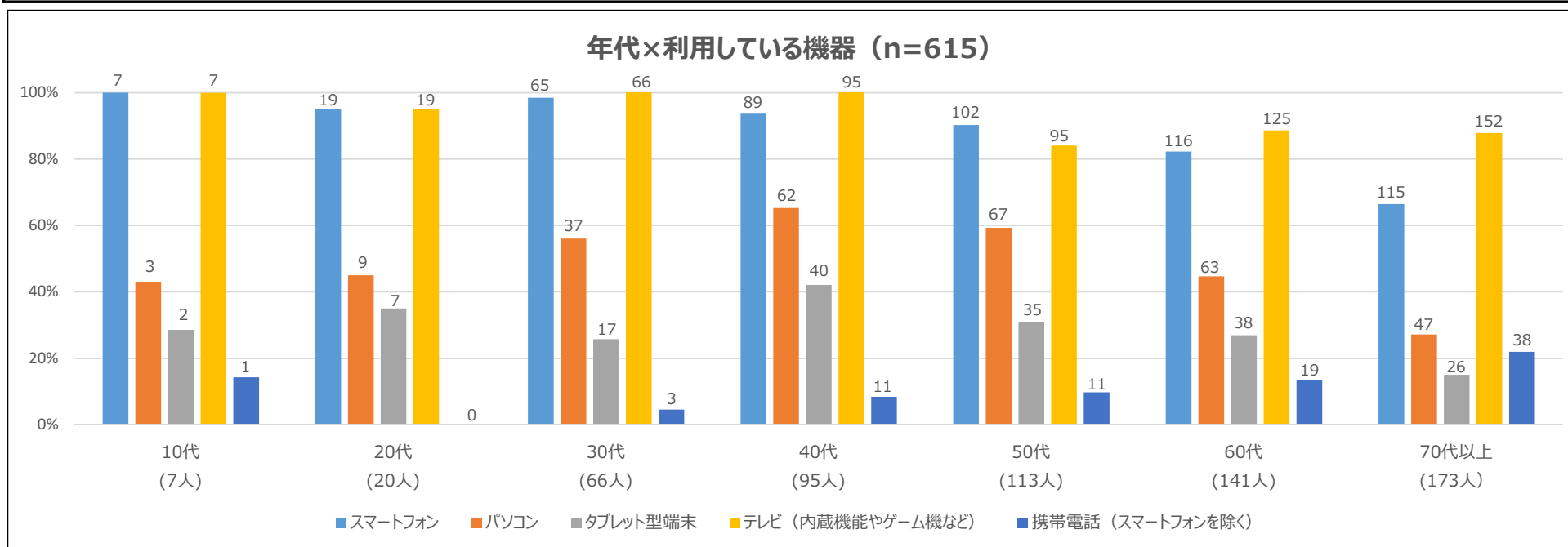
テレビ、スマートフォンの利用者は、ともに80%を超えています。
固定電話やFAX、ラジオなどの昔から親しまれている情報機器も多く利用されています。
一方でスマートフォンを除く携帯電話（ガラパゴス携帯）の利用者は全体から見ると約13%程しかいません。



◆年代×利用している情報機器

テレビ、スマートフォンの利用者が多くなっています。

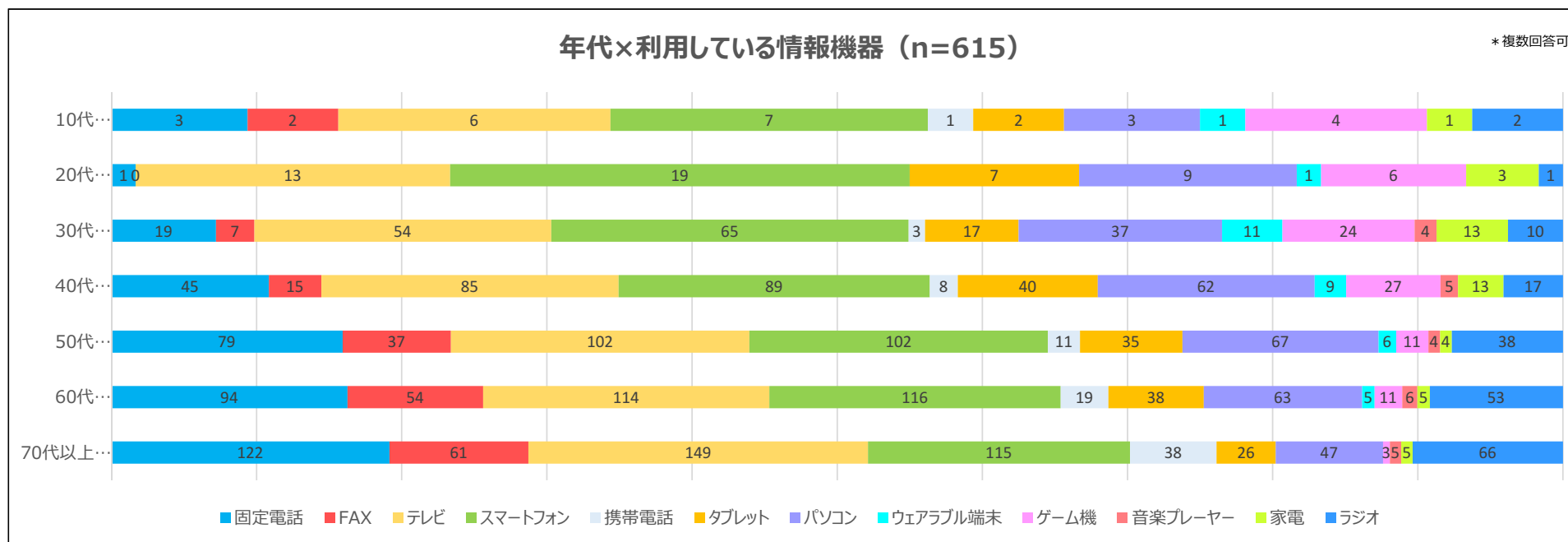
アンケート回答者の利用している情報機器を年代ごとにクロス分析し、項目毎に割合を示したものが下記の図です。
50代までの年代では、9割以上の方が、スマートフォンを利用しています。
また、すべての年代で8割以上の方がテレビ（内蔵機能やゲーム機など）を利用しています。



◆年代×利用している情報機器

すべての年代でスマートフォン、タブレット、パソコンが普及しています。
インターネットを利用した情報発信やデータの利活用などが必要になっています。

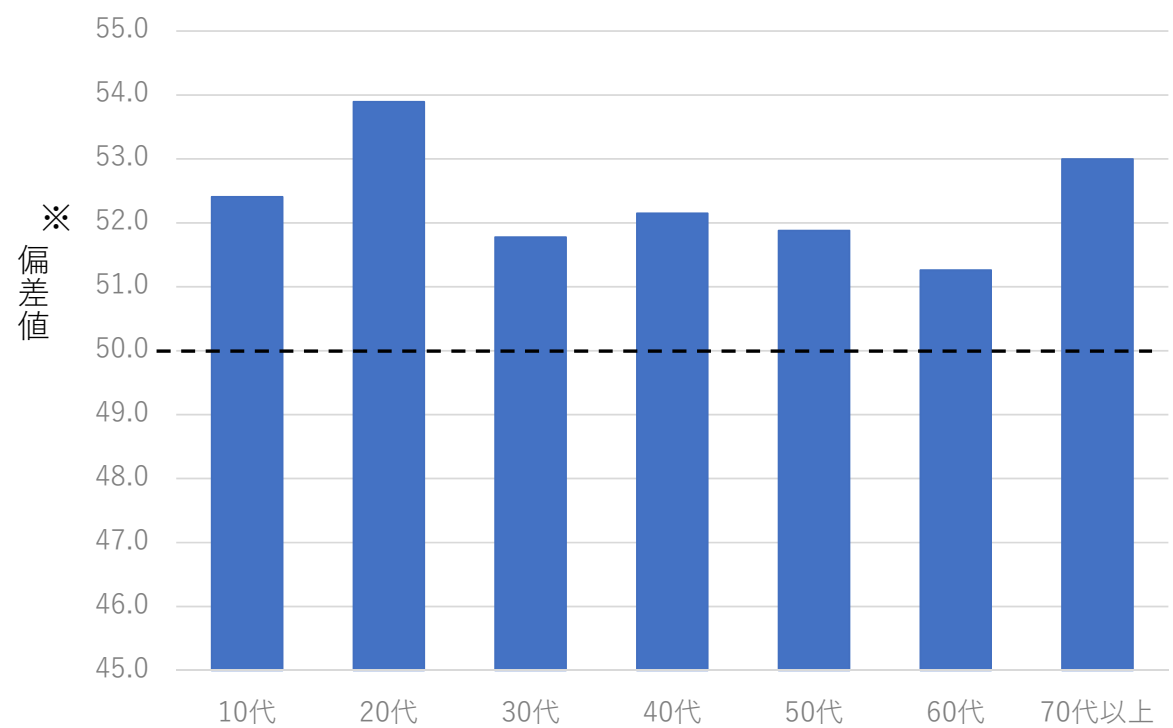
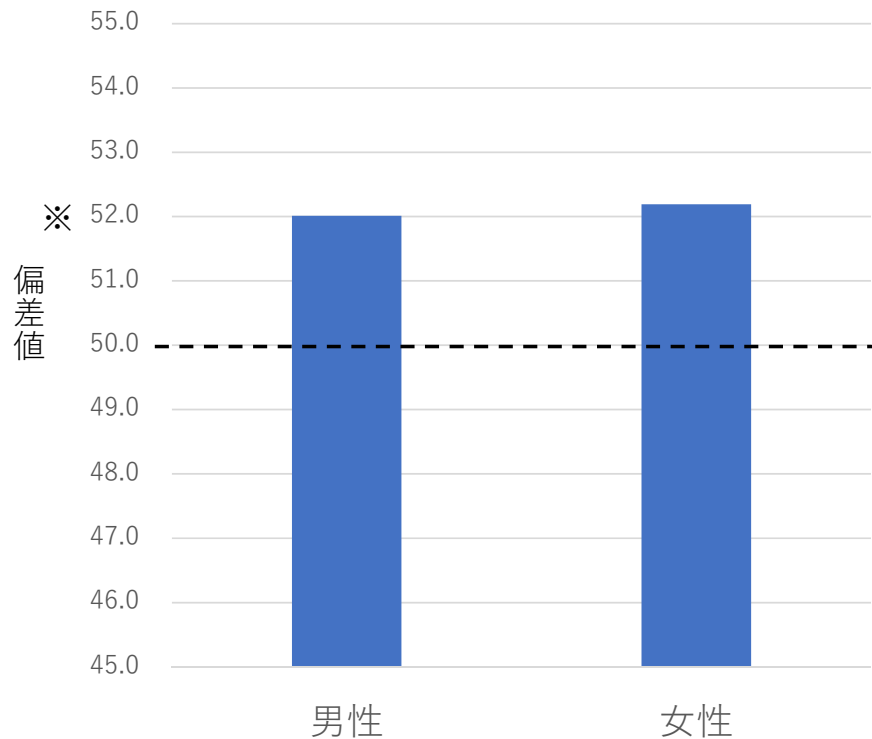
利用している情報機器を年代ごとにクロス分析し、年代毎に占める割合を示した図が下記の通りです。
テレビ、スマートフォンはすべての年代で約2割を占めており、他と比較して全体を占める割合が高いことが分かります。
また、タブレットやパソコンの利用者もすべての年代で一定の割合を占めており、インターネットを利用した情報発信が有効的なことがアンケートから読み取れます。



【参考2】焼津市 LWC（主観）指標アンケート調査結果（1/6）

◆焼津市民の客観的幸福度指標（全体）

焼津市民の幸福度は、男女、全年代において、全国値（偏差値50）より高い

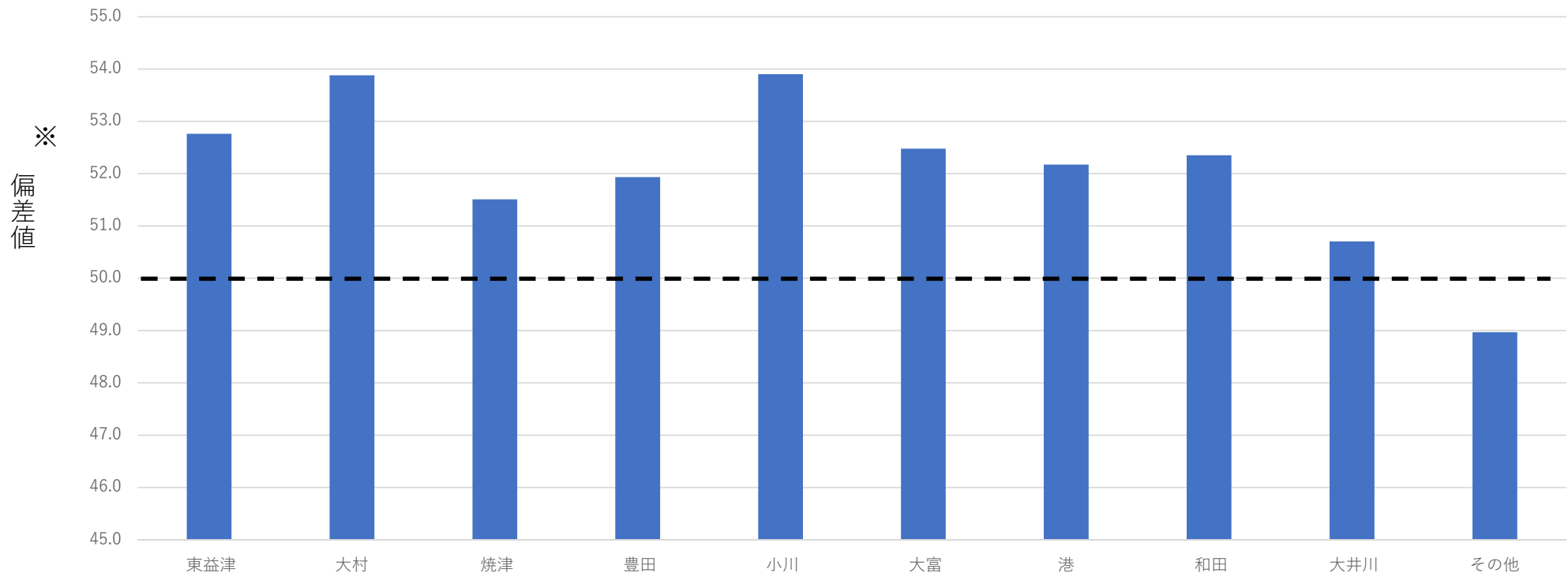


※主観の偏差値は属性毎の偏差値の平均

【参考2】焼津市 LWC（主観）指標アンケート調査結果（2/6）

◆焼津市民の客観的幸福度指標（地域別／概要）

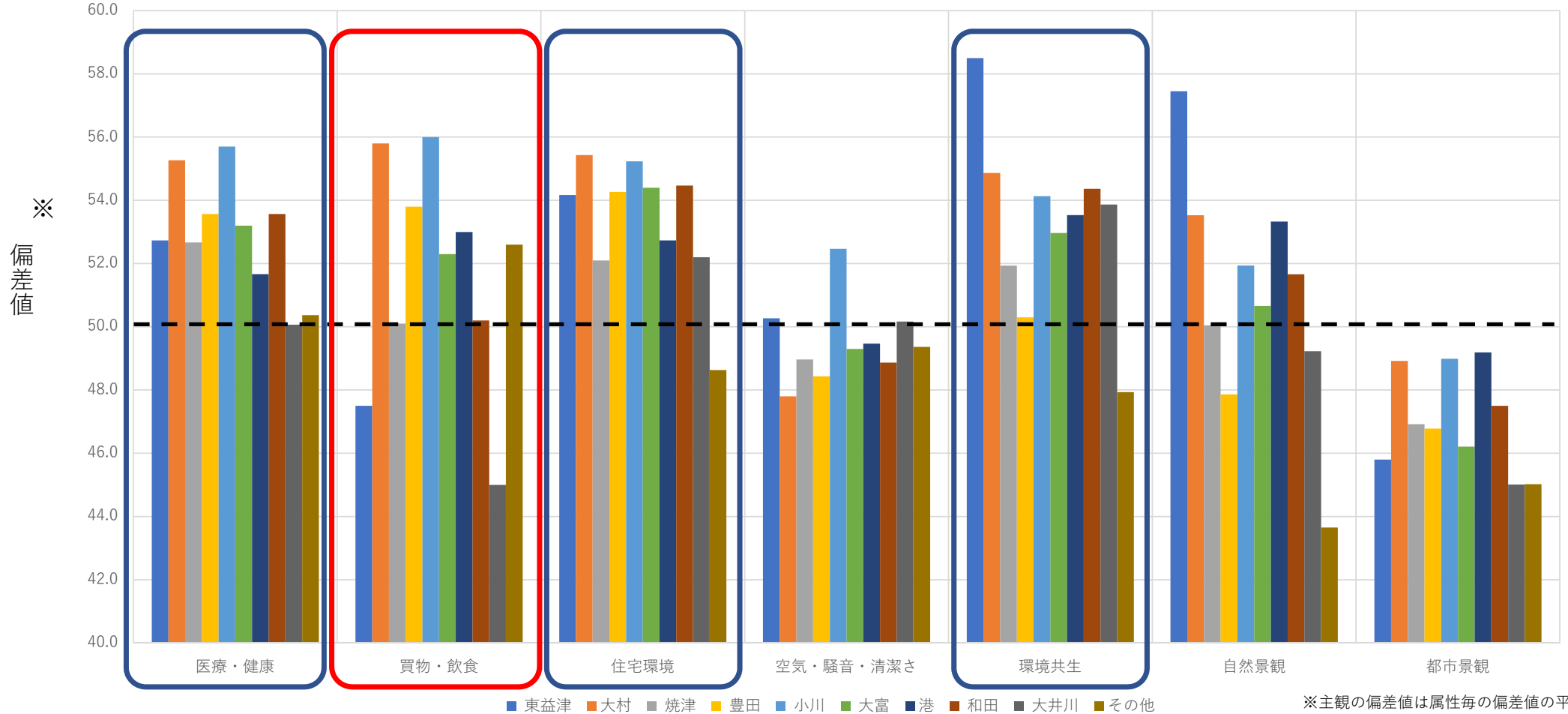
焼津市各地域の幸福度は、概ね、全国値（偏差値50）より高いが、地域ごとに若干のバラツキはある



※主観の偏差値は属性毎の偏差値の平均

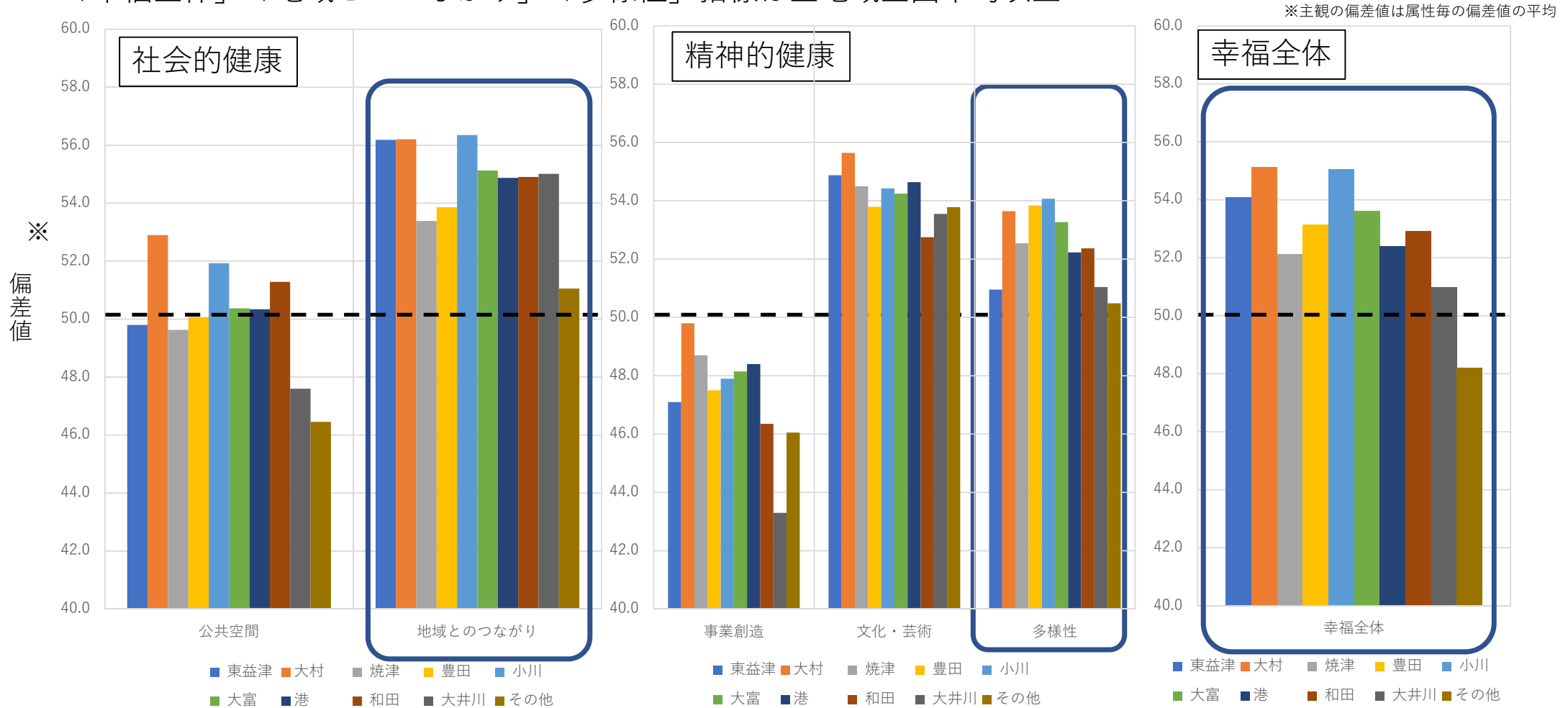
◆焼津市民の客観的幸福度指標（身体的健康／地域別）

「医療・健康」「住宅環境」「環境共生」は全体的が高いが、「買物・飲食」は地域ごとにバラツキはある

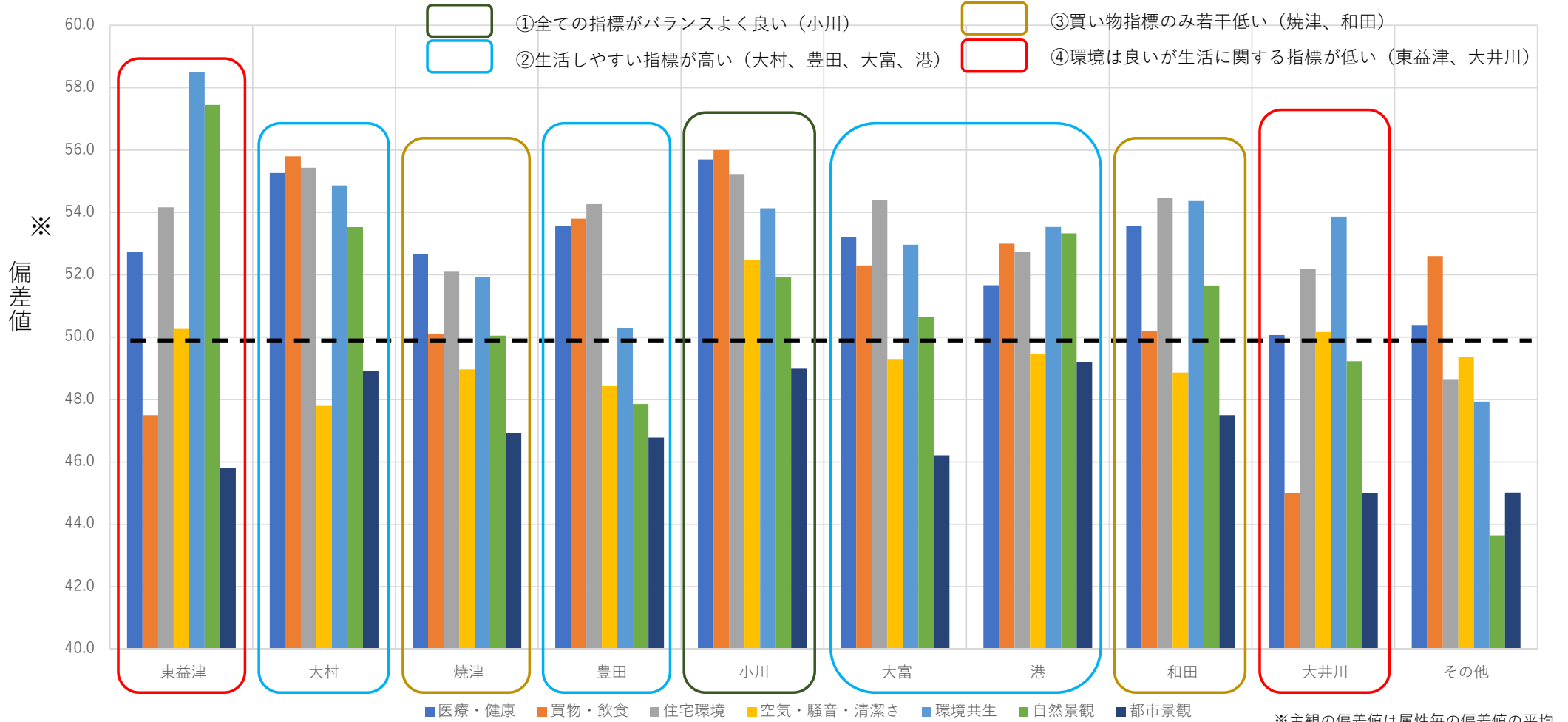


◆焼津市民の客観的幸福度指標（社会的・精神的 健康、幸福全体／地域別）

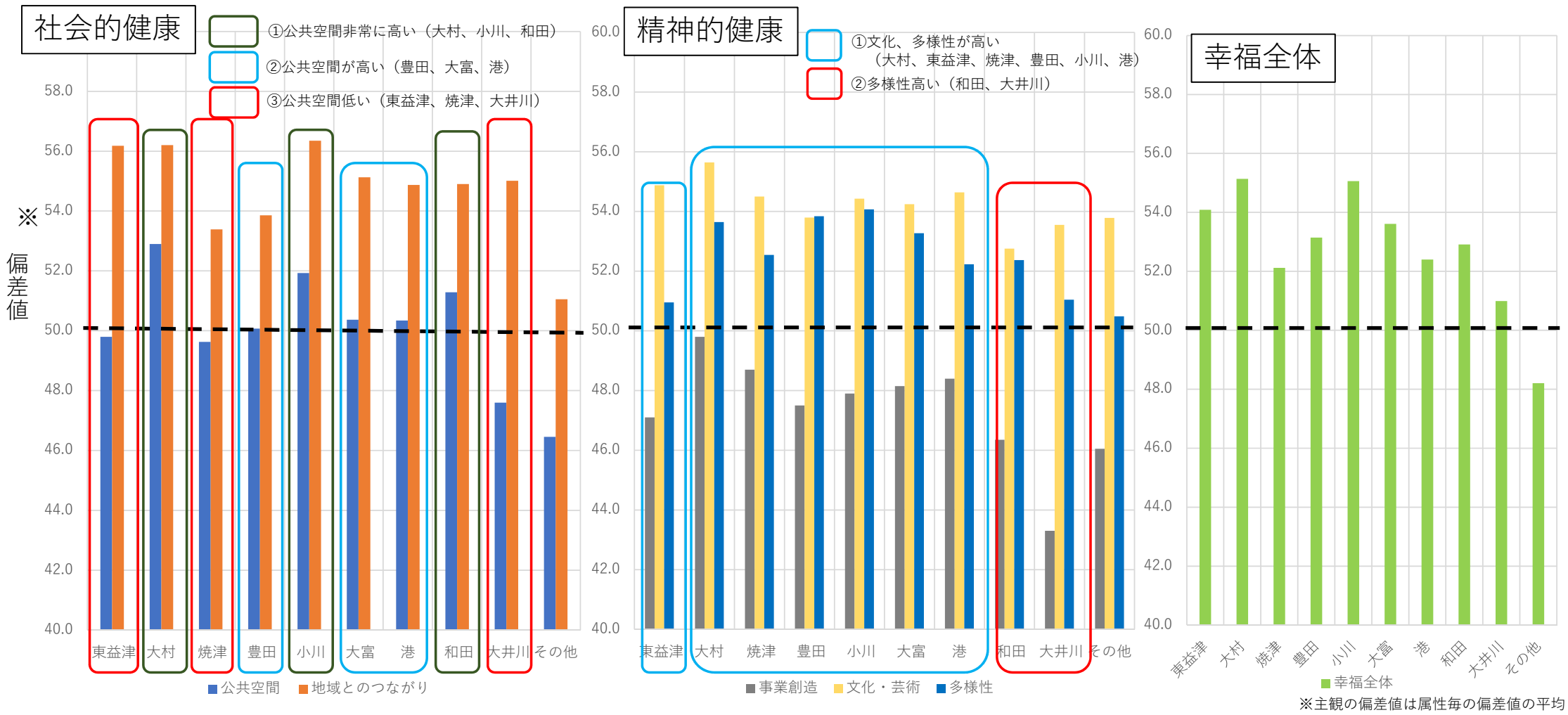
「幸福全体」「地域とのつながり」「多様性」指標は全地域全国平均以上



◆焼津市民の客観的幸福度指標（地域別／身体的健康）



◆焼津市民の客観的幸福度指標（地域別／社会的・精神的 健康）



焼津市 市民アンケート 調査票 ～LWC指標アンケート調査～

【ご協力をお願い】

市民の皆様には、日頃から市政運営につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
焼津市では、国が推進する「デジタル田園都市国家構想」を実現するための取り組みとして、ICT等の最新技術やさまざまなデータをまろりに活用する「スマートシティ」の実現を目指し、スマートシティ推進事業に着手いたしました。
本アンケートは、国の求めに応じ、焼津市のLWC指標（地域の幸福度）を測るために行うもので、得られた情報は集計・分析して統計情報として公開するほか、今後の市政運営の基礎資料等として使用させていただきます。
つきましては、大変お忙しいところ誠に恐縮ではありますが、本アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。
なお、本アンケートは、市内に住む満18歳以上の皆様の中から2,000人の方を無作為に選んで実施しています。
集計の際は、宛名情報との紐づけは行わず、しかなる場合でも回答者が特定されることのないよう、情報を取り扱います。

【LWC指標とアンケート項目について】

LWC（Liveable Well-Being City）指標は、「デジタル田園都市国家構想」において地域のWell-Being（幸福度）を計測するための指標です。
本アンケート項目は、同指標を計測するために（一社）スマートシティ・インスティテュートが作成したもので、今年度はスマートシティ施策等を行う全国の自治体が、このアンケート項目を活用して調査を行うこととなっています。

【回答方法】

- ◆ 回答は任意です。
- ◆ 調査票へのご記入、またはWEB入力フォームでのご記入は、まだお済みでない場合は、ご記入ください。
- ◆ ご記入が難しい項目は空欄のままご記入ください。
- ◆ ご記入が難しい項目は空欄のままご記入ください。

① 調査票による回答

- ・ 調査票にご記入の上、同封の返信用封筒にてご返送ください。

アンケート回答番号

② WEB入力フォームによる回答

- ・ 次のいずれかの方法でWEBページにアクセスし、右記のアンケート回答番号でログインしてください。

〈方法1〉 右記2次元コードをスマートフォン等で読み取る。
〈方法2〉 端末にURL（<https://logoform.jp/form/tWbQ/187733>）を直接入力する。



▲WEB入力フォームへリンクします。

※ 画面全てのブラウザに対応しておりますが、Google Chromeでのアクセスを推奨しております。
※ 携帯電話（ガラケー）ではご回答いただけません。
※ WEB入力フォームへ回答がない場合は、アンケート用紙をご返送していただく必要はありません。

【回答期限】

- ◆ 2月28日（火）までに、ポストへご投函またはご送信をお願いします。

<このアンケートについてのお問い合わせ先>

焼津市役所 デジタル戦略課 TEL 054-626-9414 E-mail digital@city.yaizu.lg.jp

【事前質問】※該当する番号に○を付けてください。

1	あなたの性別について、該当するものを選んでください。	1. 男性 ※「3. その他」とは、性的少数者を考慮した選択肢です。 戸籍上の区分とは別にご自身の主観によりご記入ください。	2. 女性	3. その他
2	あなたの年齢について、該当するものを選んでください。	1. 10代 5. 50代	2. 20代 6. 60代	3. 30代 7. 70代以上
3	あなたのお住まいの地区について、該当するものを選んでください。	1. 焼津 6. 東益津 10. その他（不明な場合はこちらをお選びください。）	2. 大村 7. 大富	3. 豊田 8. 和田
4	あなたが働いているところについて、該当するものを選んでください。	1. 市内	2. 市外	3. 働いていない
5	あなたの同居するご家族について、該当する番号すべてに○を付けてください。	1. 高齢者（65歳以上） 3. その他（18歳～64歳）	2. 未成年（18歳未満） 4. 同居家族はいない	
6	あなたがこの1年間で、インターネットを利用した頻度について、該当するものを選んでください。	1. 毎日1回以上 3. 月に1回以上	2. 週に1回以上 4. 年に2回以上	
7	あなたが利用している情報通信機器について、該当する番号すべてに○を付けてください。	1. 固定電話 4. スマートフォン 6. タブレット型端末（iPadなど） 8. ウェアラブル端末（メガネ型・腕時計型情報端末など） 9. インターネットに接続できるゲーム機（PlayStation5など） 10. インターネットに接続できる携帯型音楽プレイヤー（iPod など） 11. インターネットに接続できる家電（エアコン、冷蔵庫など） 12. ラジオ	2. FAX 5. 携帯電話（スマートフォンを除く） 7. パソコン	3. テレビ

問1-1 あなた自身や、暮らしている地域についてお答えください。以下の1～8の質問について、あなたの主観で、最も近いものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。 ※アンケート内の「暮らしている地域」は、「焼津市」「自治会」「町内会」等と読み替えてください。	選択肢				
	非常に あてはま る	ある 程度あ てはま る	ど ちら も言 えな い	あ まり あて はま らな い	全 くあ ては まら ない
1 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい。	1	2	3	4	5
2 暮らしている地域では、新たな発見や刺激が得られる。	1	2	3	4	5
3 暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある。	1	2	3	4	5
4 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない。	1	2	3	4	5
5 暮らしている地域は、医療機関が充実している。	1	2	3	4	5
6 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である。	1	2	3	4	5
7 暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる。	1	2	3	4	5
8 暮らしている地域には、自然と向き合う喜びがある。	1	2	3	4	5

【参考3】焼津市 市民アンケート（LWC指標アンケート調査）調査票

問1-2 あなた自身や、暮らしている地域についてお答えください。以下の9～30の質問について、あなたの主観で、最も近いものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。 ※アンケート内の「暮らしている地域」は、「焼津市」「自治会」「町内会」等と読み替えてください。		選択肢				
		非常にあてはまる	ある程度あてはまる	どちらとも言えない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
9	暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる。	1	2	3	4	5
10	自宅の間取りは、使い勝手がよく快適である。	1	2	3	4	5
11	自宅の外観(庭等を含む)には満足している。	1	2	3	4	5
12	自宅には、心地のいい居場所がある。	1	2	3	4	5
13	暮らしている地域には、気の合う仲間や知り合いがいる。	1	2	3	4	5
14	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる。	1	2	3	4	5
15	私は、近所の方に感謝することが多い。	1	2	3	4	5
16	私は、精神的に健康な状態である。	1	2	3	4	5
17	私は、身体的に健康な状態である。	1	2	3	4	5
18	私は、日々の生活において、笑うことが多い。	1	2	3	4	5
19	自宅近辺の街並みは、私の好みに合っている。	1	2	3	4	5
20	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい。	1	2	3	4	5
21	暮らしている地域の時間の流れ方は、自分に合っている気がする。	1	2	3	4	5
22	暮らしている地域の政策には、賛同できる。	1	2	3	4	5
23	暮らしている地域行政は、地域のことを真剣に考えていると思う。	1	2	3	4	5
24	暮らしている地域の自治体窓口(役場など)は、親切で好感が持てる。	1	2	3	4	5
25	暮らしている地域は、路上にゴミを捨てる人が多い。	1	2	3	4	5
26	暮らしている地域は、ゴミ出しや生活ルールを守らない人が多い。	1	2	3	4	5
27	自宅の近辺は、騒音に悩まされている。	1	2	3	4	5
28	暮らしている地域では、住民同士が過干渉でしがらみが多い。	1	2	3	4	5
29	暮らしている地域では、少しでも変わった事をすると周りからとやかく言われる。	1	2	3	4	5
30	暮らしている地域の住民は、地域外から来た人には疑いの目を向ける。	1	2	3	4	5

問2 現在、あなたはどの程度幸せですか?「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると感じますか? いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。	
とても不幸 ←-----→ とても幸せ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	

問3 あなたの町内(集落)の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか? 「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。 全く分からない場合には「×」を○で囲んでください。自分の同居家族は除いて考えてください。 ※「町内(集落)」は、お住まいの地域の実態に即して「自治会」や「町内会」等と読み替えてください。	
とても不幸 ←-----→ とても幸せ × 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	

問4 あなた自身や、暮らしている地域(焼津市全体)についてお答えください。以下の1～3の質問について、あなたの主観で、最も近いものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。	選択肢					
	強くそう思う	ある程度そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない	
1	私は、住んでいる地域の暮らしに満足している。	1	2	3	4	5
2	私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある。	1	2	3	4	5
3	私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある。	1	2	3	4	5

問5 以下の1～8の質問について、あなたの主観で、最も近いものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。 ※アンケート内の「町内(集落)」は、お住まいの地域の実態に即して「自治会」や「町内会」等と読み替えてください。また、「近隣の町(集落)」は、お住まいの地域の実態に即して近隣の「自治会」や「町内会」等と読み替えてください。	選択肢					
	そう思う	どちらかというくらいそう思う	どちらでもない	どちらかというくらい思わない	そう思わない	
1	私は、まわりの人たちと同じくらい、それなりにうまくいっている。	1	2	3	4	5
2	私は、自分のことを好ましく感じる。	1	2	3	4	5
3	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている。	1	2	3	4	5
4	私は、近隣の町(集落)に住む人たちを信頼している。	1	2	3	4	5
5	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある。	1	2	3	4	5
6	私は、町外(集落外)からやってきた人が町内(集落)に定住することは喜ばしいと思う。	1	2	3	4	5
7	私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする。	1	2	3	4	5
8	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい。	1	2	3	4	5

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。